

4. 介護ロボットおよび介護支援機器・福祉用具の使用法（手順チェックリスト）

2) 移動・移乗スライディング用具

(2) 移動・移乗スライディング用具の使用手順および注意事項

②スライディングボードの使用手順（チェックリスト）

①ベッドから普通型車いすへ（端座位の姿勢保持はやや不安定、立ち上がり困難な利用者の例）

項目	No.	手順	留意点や手順のねらい
使用前の点検	①	使用物品（スライドボード、車いす、ベッドのブレーキ）の点検をしておく。	
介助開始時のコミュニケーション	①	利用者にあいさつをする。	
	②	これから行うことについての説明を行い、同意を得る。	利用者の意向を確認し、これから行う移乗方法・手順を理解してもらう。
	③	利用者の体調を確認する	
移乗の準備	④	利用者にベッド柵につかまってもらい、足底が床につき安定した座位姿勢をとっているか、確認する	
	⑤	車いすのベッド側のアームサポートとフットサポートを外しておく。車いすを15～30度程度の角度で介助の邪魔にならない範囲でできるだけベッドに近づけておく	
	⑥	介助者は利用者と向かい合い、車いすと反対側の利用者の腋下から肩甲骨に手を入れて上体を支える姿勢をとる	「私の肩に手をまわしてください」などと声掛けし利用者の腕を介助者の肩にのせてもらう。
	⑦	利用者の身体を前傾したのち、車いすと反対側に傾け、浮いた臀部の下にスライドボードを差しこむ	スライドボードは利用者の臀部の半分から三分の1が乗ればよい
	⑧	車いすを利用者とベッドに近づける	
	⑨	スライドボードの車いす側の端を回転するように動かし、車いすの座面に乗せる。	ボードにガイドラインがついている場合、ベッド前端と車いすのシート前端がラインに一致し、さらにラインの内側に位置していることを確認する。
	⑩	ベッドと車いすの中間地点で、利用者の身体が転落しないよう、スライドボードの両端がベッドおよび車いすに十分乗っているか確認する	



移乗	⑪	利用者の車いす側の足を前方にずらす	車いすは、移乗した時の足の位置に少しでも近づけておく。移乗中転落しないように出しすぎにも注意する
	⑫	利用者に車いすのアームサポートをもってもらい、もしくは介助者の身体につかまってもらい	
	⑬	介助者は利用者の車いす側の肩甲骨とベッド側の骨盤を支えながら、利用者の身体をゆっくり滑らせる	介助者は片腕で利用者の背部を、もう一方の手で臀部を面で支え「ゆっくり移動します」と声かけし、利用者の身体をゆっくりスライドさせる。この時、一気に滑らないよう、利用者が車いすから転落しないよう気を付ける。 介助者は動く方向に足先を向け、支持基底面積を広げ重心を移動させながら（例：右足から左足へ）足の位置も動かしていく。
	⑭	利用者の臀部が十分車いすに乗っていることを確認したのち、利用者の身体をベッドと反対側に傾け、ベッド側の臀部が少し浮くように姿勢を誘導する	
	⑮	スライドボードを引き抜く	利用者の体幹を支えながら一方に身体を傾け、反対側を押す際は大腿部全体を面で支えて押すようにする。もう一方も同じように介助し座位を安定させる。足面が床につき、足関節が90度になっていることを確認する。
	⑯	利用者の身体を左右に傾けながら深く腰かけるよう見守り介助し、座位の安定を確認する。	利用者の体幹を支えながら一方に身体を傾け、反対側を押す際は大腿部全体を面で支えて押すようにする。もう一方も同じように介助し座位を安定させる。足面が床につき、足関節が90度になっていることを確認する。
	⑰	利用者の足をフットサポートに乗せてもらいよう声かけし、見守りする。	
移乗後の安全、安楽の確認	⑱	利用者の姿勢や衣服にゆがみ、ひねりがないか確認する	
	⑲	利用者自身に苦痛や体調の悪化がないか確認する	

